



# 交通安全情報

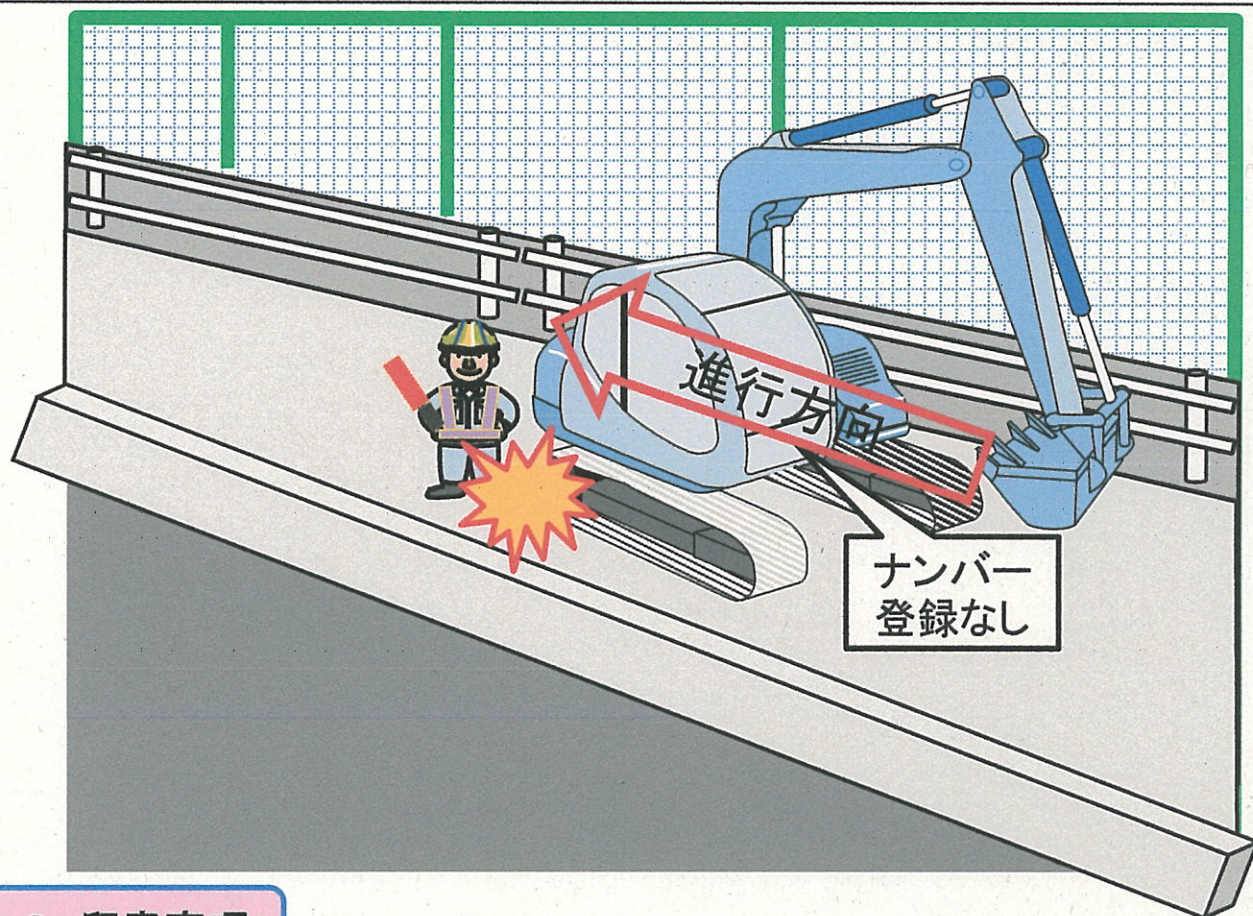
—5月号—

令和2年5月11日  
警視庁交通規制課

## 重機による交通人身事故発生！

### 1 事故概要

道路工事現場へ移動するため、ナンバー登録の無いバックホーを自走中（道路使用許可範囲外）、路肩に接触しそうになり、方向を変え後退したところ、バックホーを誘導していた交通誘導員の足を轢いたものです。



### 2 留意事項

- ナンバー登録の無い車両は、交通誘導員が先導していても道路を走行することはできません。交通法規を守って道路工事を行ってください。
- ナンバー登録の無い車両を運転し、人を負傷させた者は、過失運転致傷罪、道路運送車両法（無車検・無保険）違反等の刑事上の責任のほか、運転免許の取消処分等の行政処分、更には民事上の責任を問われ、施工業者についても、監督上の責任を負うことがあります。
- 工事現場等の責任者は、作業員の作業内容や施工状況を確実に把握し、今回のような事故が発生しないよう管理を徹底してください。

(注) 本件に関するお問い合わせやご意見がございましたら、交通規制課 道路第1係までご連絡ください。

(Tel. 3581-4321 内線703-51712)

警視庁HP <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>



# 交通事故発生状況（4月末現在）

世界一の交通安全都市TOKYOを目指して

## ◎ 発生状況

	当 月 計		累 計		
	本年	増減	本年	増減	増減率
発生件数	1,492	-1,391	8,156	-2,567	-23.9%
死者数	14	+2	48	+7	+17.1%
負傷者数	1,677	-1,594	9,166	-3,075	-25.1%

## ◎ 月別死者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計	4月末現在
令和2年	11	15	8	14										48
令和元年	11	9	9	12	5	8	7	12	13	14	18	15	133	41
増 減	0	+6	-1	+2										+7

## ◎ 年齢層・状態別死者数

	計		四輪		自動二輪		原付		自転車		歩行者		その他	
	本年	増減	本年	増減	本年	増減	本年	増減	本年	増減	本年	増減	本年	増減
計	48	+7	4	-4	9	+3	0	-1	9	-1	26	+10	0	0
子供	幼児	1	0		0		0			-1	1	+1		0
	小学生	2	+2		0		0		0		2	+2		0
	中学生	0	0		0		0		0		0	0		0
若年層	高校生	1	+1	1	+1		0		0		0	0		0
	中卒～19歳	0	-1		0		-1		0		0	0		0
	20～24歳	5	+3	1	0	3	+3		0	1	0		0	0
25～29歳	1	-1		0		-1		0		-1	1	+1		0
30歳代	2	-1		0	1	+1		0		-2	1	0		0
40歳代	6	+4	1	+1	3	+2		-1	1	+1	1	+1		0
50歳代	6	-2		0	2	0		0	1	-2	3	0		0
60～64歳	5	-1	1	0		-1		0	2	+1	2	-1		0
65歳以上(高齢者)	19	+3		-6		0		0	4	+3	15	+6		0
65～74歳	6	+3		0		0		0	1	+1	5	+2		0
75歳以上	13	0		-6		0		0	3	+2	10	+4		0

## ◎ 時間帯別死者数

	06～	08～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	00～	02～	04～
本年	5	8	1	1	5	3	7	5	1	4	3	5
増減	-1	+5	-3	-2	0	-2	-1	+4	0	0	+2	+5
昼夜別	23 ( -3 )						25 ( +10 )					

◎ 飲酒運転に伴う事故死者数 2件（前年比 +2件）

※ 即報値のため、数値が変動することがあります。

路上工事現場等における交通人身事故発生状況

年 \ 項目	発生件数	死者数	負傷者数
令和 2 年中 (4月末現在)	5件 (5件)	0人 (0人)	5人 (5人)
令和 元 年中 (4月末現在)	4件 (1件)	2人 (0人)	2人 (1人)
昨年比 (昨年同期比)	+1件 (+4)	-2人 (±0)	+3人 (+4)

道路使用許可の履行状況調査結果 (交通安全活動推進センターが11,008件調査した結果)

1 許可条件履行状況調査に対する不履行件数

調 査 項 目		不履行件数		調査箇所数に対する構成率
		4月1期末現在	昨年同期比	
交通 処 理	交通誘導員配置	27	-40	/
	歩行者用通路確保	2	-8	
	う回誘導対策	0	-6	
	小計	29	-54	
使 用 範 囲	道路使用範囲不明確	61	-26	/
	道路使用範囲拡大	5	-4	
	作業帯外駐車・資材放置	0	-7	
	施工時間	4	-6	
	小計	70	-43	
保 安 施 設	作業帯(A型バリケード、カラーコーン)設置	61	-26	/
	歩行者・自転車等の安全施設設置	0	±0	
	保安資材(黄色回転灯、進行方向指示灯等)設置	2	+1	
	小計	63	-25	
そ の 他	無許可	77	-33	/
	現場責任体制等	2	-1	
	小計	79	-34	
合計		241	-156	2.2%

2 原状回復措置履行状況調査に対する不履行件数

調 査 項 目		不履行件数		調査箇所数に対する構成率
		4月1期末現在	昨年同期比	
・原 状 復 旧 復	標識・標示(仮)復旧	201	-54	/
	路面補修(仮)復旧	27	-1	
	交通安全・保安施設(仮)復旧	0	±0	
	清掃・資材放置	1	±0	
	合計	229	-55	

※ 「4月1期末」～令和元年12月16日から4月14日まで



# 交通安全情報

—増刊号—

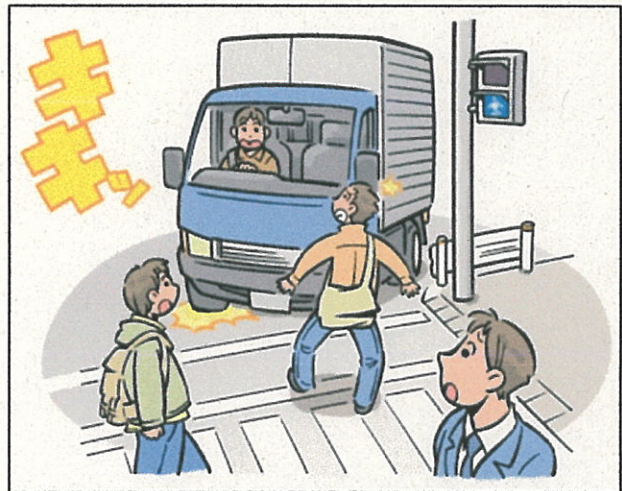
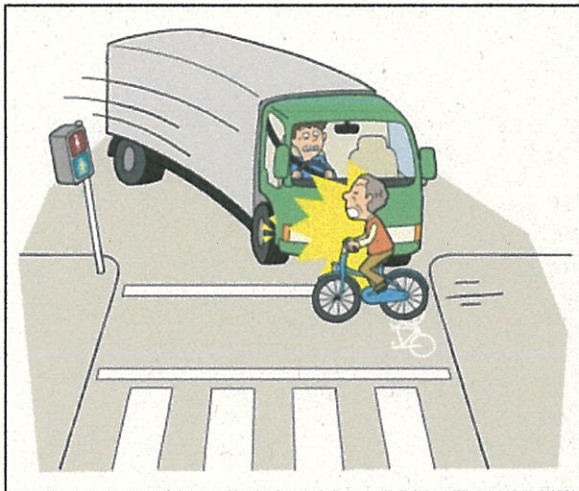
令和2年5月11日  
警視庁交通規制課

## 現場の出入り口や交差点付近の視野の確認を！



- 工事現場の出入り口付近や交差点付近のパネル板は、透明なポリカーボネイト等に変更し、運転者等の視野の確保に努めてください。変更することにより、運転者の視野が広くなり、死角から現れる歩行者等を早期に発見することができ、交通事故の未然防止に有効です。
- 工事現場への出入りする車両や路上工事現場等に伴う一般交通の誘導が必要な場合は、交通誘導員を欠落することなく配置してください。

## 工事関係車両の右左折時における交通事故が多発！



- 道路が閑散としておりスピードオーバーになりがちです。また、交差点を右左折するときは十分な安全確認を行い直ぐに停止できる速度で進入し、歩行者等がいるときは必ず一時停止をしてください。
- 車両の窓にカーテンやフィルムを貼るなど、運転者の視認性を妨げることがないようにしてください。

(注) 本件に関するお問い合わせやご意見がございましたら、交通規制課 道路第1係までご連絡ください。

(Tel. 3581-4321 内線703-51712)

警視庁HP <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>



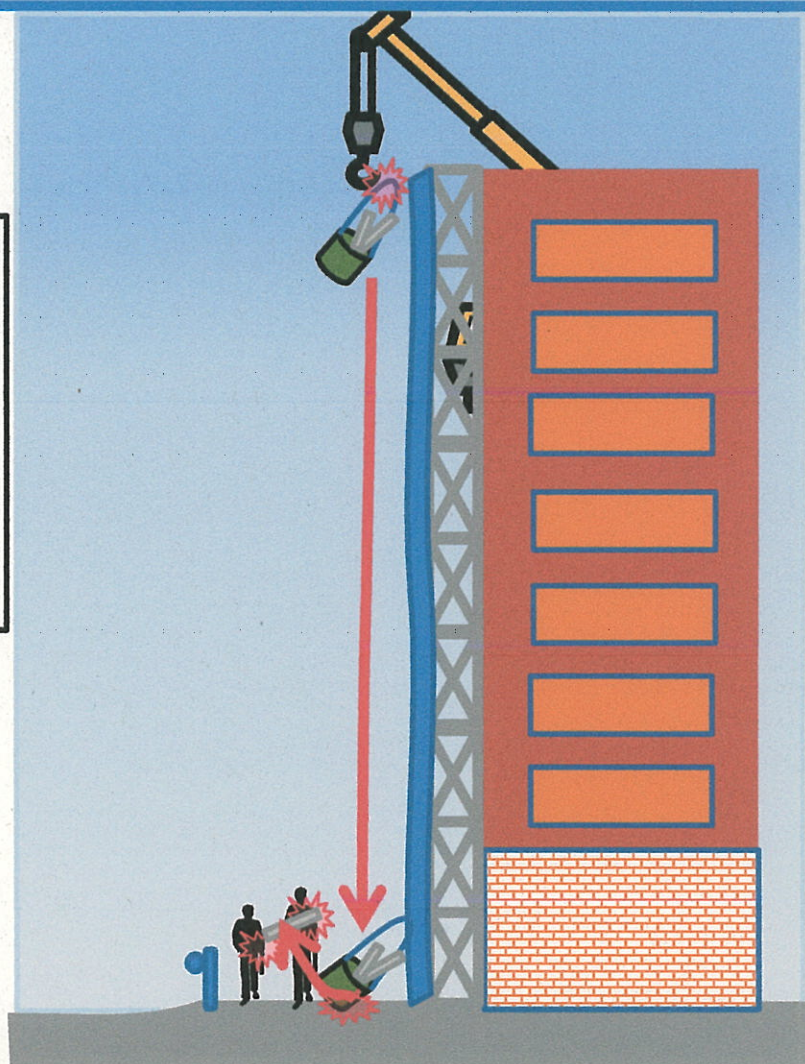
# 緊急事故速報

令和2年4月28日  
警視庁交通部  
交通規制課

## タワークレーン作業中、資材が落下 歩行人が大怪我をする事故発生！

### 1 事故概要

マンション建築現場において、タワークレーンで資材を降ろす作業中、資材を入れた袋が歩道上に落下し、通行中の歩行者にぶつかり、大怪我をする事故が発生しました。



### 2 事故防止対策のお願い

- タワークレーンでの上空作業では、歩行者などの安全確保のため必ず歩行人を遮断するなどの対策が必要です。
- 安全確保が難しい場合は、常時通行止にして歩行者などを迂回させ、万が一、落下しても安全が保てるよう計画してください。
- 今回と同じような事故が過去にもあり、重大な事故につながりますので、現場の作業員全員で安全管理に努めましょう。

※ 略図はあくまでもイメージで、事故当事者の責任や過失の軽重を表したものではありません。